

## ＜豊南地域会議の意見＞

### 1 【仮称】ミライ構想の方向性（素案）に対する考え

#### (1) 「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」について

豊南地域会議として、スローガンは「妥当」であると考え、言葉の前に「未来」を入れた方が良いと考える。

＜意見＞

・「未来へつながる 未来をつくる 暮らし楽しむまち・とよた」のように、言葉の前に「未来」を入れた方が良い。

#### (2) めざす姿について

豊南地域会議として、めざす姿は「おおむね妥当」だが、中身を具体的にすべきだと考える。

＜意見＞

- ・イメージがしづらいので、具体的な表現を入れてほしい。
- ・豊田市の市街地は「つながり」が少ないと感じている。特に子育て世代は、忙しいためか「つながり」が少なくなっている。無理なく地域につながる支援をさらに進めることが望まれる。
- ・問題点がよくわからない、ターゲットは誰なのかを明確にしてほしい。
- ・「つながり」は地区を超えてより多くの人を実感できるものであってほしい。
- ・地域の区長会が連絡会となっているが、地域内の「つながり」を強くするために地域の問題点の解決や討議の場とすべきだと思う。それに対して市の支援が必要。
- ・単なる「つながり」ではなく、「たてとよこのつながり」を大切にすべきだと思う。  
(たて・・・こども～高齢者、よこ・・・地区間)

#### (3) まちづくりの基本的な考え方について

豊南地域会議として、まちづくりの基本的な考え方に「おおむね賛同」するが、「変える」について「見方」「思考」「行動」よりも「認識」「思考」「行動」という表現の方が良いと考える。

＜意見＞

- ・過去の例や他の自治体にとらわれず、全国の先進例となることを望む。
- ・社会潮流の変化に対応して、施策も柔軟に変えていく必要がある。
- ・発想の転換のうち、「あるものを生かす」はSDGsにもなり、とても重要だと思う。新しいものを作るのではなく、今あるものを見つけ、それを生かす発想への転換を押し進めてほしい。
- ・3つの「変える」について、多様な国籍の方々と共生していけるような市にするため、時代の変化へ柔軟に対応し行動にうつすことは重要だと思う。意識を変える

ことは大変であるため、より一層推し進めてほしい。

- ・考え方に異論はないが、実現させるための具体的方策がないと単なる絵にかいた餅になってしまう。
- ・発想の転換はとても重要。10代から70代までの幅広い人材づくりを推し進めてほしい。
- ・「変える」は「認識」と「思考」と「行動」という表現の方が良いと思う。（「見方」は思考に含まれる）。

## 2 【仮称】ミライ実現戦略 2030 の方向性（素案）について

豊南地域会議として、この横断的な目標に「おおむね賛同」するが、「こども」「愛着・誇り」よりも「こども・高齢者・地域」という表現の方が良いと考える。

<意見>

- ・スローガンは抽象的なので、具体的な活動に落とし込む必要がある。活動は過去にとらわれず、本当に市民に寄り添ったものしてほしい。
- ・豊南地域は地元の方と別地域からの移住者が半々くらいだと聞いている。他の地域と比べて、地元愛を盛り立てることはまだ先の話のような気がする。
- ・ミライ構想を実現するためには、横のつながりや地域の絆が大切。
- ・ひとが視点であるなら、横断的な目標は「こども」「高齢者」「地域」を3本柱とするべきだと思う。その3つが実感できてこそ、愛着や誇りにつながる。
- ・都市構造の実現に向けた方針の内容について、具体的な例が欲しいと思った。
- ・こどもにもっと目を向け、豊田市のことを知ってもらう必要がある。
- ・具体的な例につながる方向性であるべきである。

## 3 その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど

<意見>

- ・豊田市民で良かったと思える街づくりをしてほしい。
- ・市民に理解してもらうために、第8次総合計画の結果や第9次総合計画の策定について、広報誌やHPを活用して周知を行うべきである。また市民が参加できる体制が必要だと考える。
- ・2030～2040年にかけての世の中の状況を考えていくべきである。
- ・高齢者が移動に困らない環境を作してほしい。
- ・豊南地区も高齢化が進んでいるので高齢化社会に関する内容も必要だと思う。
- ・文面に難しい言葉が使っている。子どもや外国人でもわかるようなやさしい言葉を使ってほしい。
- ・コミュニティへの参加について仕事をしていてもできるような地域活動の場づくりをすると良い。そのためにコミュニティに参加することのメリットがはっきりすると良い。

## 4 その他豊南地域会議として考えたこと

(1) めざす姿について

- ・豊南地域をはじめとする豊田市の市街地は「つながり」が少ないと感じている。特に子育て世代は、忙しいためか「つながり」が少なくなっている。無理なく地域につながる支援をさらに進めることが望まれる。
- ・豊南地区は地域の祭り等、継承しなければいけない行事において、高齢者と子どもをつなぐを大事にして進めているのでめざす姿としてこの表現は良いと思う。
- ・次のことを地域で取り組む必要があると考える。
  - 1 いかにか地元意識をもって、地域の活動に参加してもらえるかがつながりの第一歩だと思う。
  - 2 自治区は魅力あるイベントや共感を得られるイベントの企画を実行する。
  - 3 豊南中学校区外の山間部地域との交流を企画・実行する。
  - 4 デジタル技術を活用した自治区活動を推進する。
  - 5 高齢者の移動支援について、豊南地区全体でとらえ、合同で具体策を検討する。
- (2) まちづくりの基本的な考え方について
  - ・「発想の転換」に関して、次のように考える。
    - 1 自治区の最小規模を決め、小規模自治区は併合させる。
    - 2 自動車学校の送迎車や福祉送迎車、病院巡回バス等の今ある車両の活用を考える。
    - 3 豊寿園から病院経由の豊田市駅までのバス路線を走らせる。
    - 4 交流館に無料 Wi-Fi を導入する。
    - 5 コミュニティの会合はオンラインで実施する。
  - ・リニアの駅よりも、自動運転を利用する等豊田市内において利便性の高いまちづくりを目指した方が良いと思う。
  - ・「どうしたら実現できるか」の思考から行動にうつす。スピード感が重要な時代に入っている。
- (3) ミライ実現戦略2030の方向性について
  - ・都市構造の基本的な考え方の一極集中ではなく、いくつかの拠点へ分け、拠点毎につながるまちづくりはとても良い。
  - ・自動運転車両の導入を視野に入れるべきである。例えば豊田市駅～スタジアムで実験を開始し、住宅モデル地区で実証実験を行う。
  - ・自動車専用車線の拡充を行う。
  - ・国道248号の立体化など、道路整備を行う。
  - ・豊南地区の一部では、市街化調整区域である等の理由で世帯数が減少している。区域の見直しを行ってはどうか。